

令和7年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：岡本静香 副委員長：友清尚子 委員：檜垣美香子・中尾美喜子・牛尾佐織・篠原里美・小西由佳利 阿波栄子・赤木英幸・福田幸子・大迫しのぶ・小林孝代
■開催回数	9回
■活動目標	1. 職場環境改善に向けての実態調査の結果・考察から課題を整理し、健康で安全な職場環境の実現に向け取り組む。 2. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 3. 勤務環境改善に関する関係機関との連携を推進する。
■活動内容	1. 職場環境改善に向けての実態調査の結果・考察から課題を整理し、健康で安全な職場環境の実現に向け取り組む。 1) 職場環境改善に向けての実践報告を、職場環境改善の視点で具体的にに取り組むことができている3施設の好事例を、11月27日の実践報告会として開催し情報共有を行った。 2) 令和6年度実施した「職場環境改善に向けての実態調査」の結果より、200床以上と未満でクロス分析を実施し、施設規模別での課題を明らかにした。 (1) ICT化の導入を推進 ICT情報ツールとして、オンライン研修は規模に関係なく50%以上の施設で取り入れているが、AI問診や音声入力、AIサマリー入力、インカム、グループチャット等の活用は、活用が進んでいない状況がうかがえた。 (2) カスタマーハラスメント コンプライアンス体制の整備として、パワーハラスメントに関する取り組みが、施設の規模に関係なく取り入れられているが、カスタマーハラスメント対策は取り入れが進んでいない現状がある。次年度は、各施設の状況を把握し解決への取り組み等が求められている。 (3) シニアナースの活用 200床未満の施設で雇用が低い現状があるプラチナナースの活用への取り組みが必要である。 (4) 特定行為看護師の育成・活用 特定行為研修の育成は、200床以上34.8%。200床未満で7.0%である。 特定行為看護師は大規模病院に偏在している結果であった。 2. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 1) 実践報告会・交流会を開催する。 令和7年11月27日 14:00～16:00 【看護のビジョンを持ち効率化に取り組もう】 実践報告：明和病院「離職率の改善を目指した取り組み」 ー業務改善・キャリア開発の追求ー 副院長・看護部長 末武千香 氏

	実践報告：偕生病院「労務管理・看護の質の向上への取り組み」 一個々の状況に応じた労務管理を目指して－ 看護部長 木村佐江子 氏 実践報告：中谷病院「チーム医療と業務分担への取り組み」 一看護師がベッドサイドに行ける時間確保を目指して－ 看護部長 中谷悦子 氏 3. 勤務環境改善に関する関係機関との連携を推進する。 1) 本委員会の外部委員、兵庫県看護協会ナースセンター、本会各支部等を通じ連携を強化する目的で委員会での情報共有を行う。 「労働者施策総合推進法」説明会開催 : 令和8年2月20日 講師 兵庫労働局待遇改善推進指導官 岩城雅俊 氏 ・ハラスメントの現状と防止対策について ・ハラスメントのない社会のために企業はどう対応するべきか ・日頃のコミュニケーションと、相談しやすい職場環境整備がカギである 2) 各関係機関からの最新情報をホームページ等で発信 【関係機関】 兵庫県保健医療部医務課、兵庫労働局雇用環境・均等部指導課、ひょうご仕事と生活センター等
■活動の評価	令和6年10月～12月に実施した「職場環境改善に向けての実態調査」をもとに、より具体的な取り組みを共有する目的で、3施設で実践している職場環境改善に向けた取り組みへの事例報告会を開催。参加者は職場環境改善への必要性を理解しているが、具体的方策に結び付かない意見が多かったため実践報告会では、より具体的な取り組みが明確となる内容で構成し、参加者との情報共有を行うこともできた。今後も継続的に職場環境改善に向け取り組むことが求められている。
■今後の課題	令和6年10月～12月に実施した、「職場環境改善に向けての実態調査」の結果より、200床以上（46施設）、200床未満（116施設）での施設規模別のクロス集計の内容を分析し、規模別での勤務環境改善に向け取り組んでいく。